

普及現地情報



発信年月日:令和7年(2025年)12月18日

所 属 名:湖東農産普及課

番 号:F25017

発信者名:川村容、數野、栞山、河村

「きらみずき」生産者意見交換会を開催

12月2日、令和7年産「きらみずき」栽培を振り返り、次年度の栽培に役立てることを目的に、湖東管内の「きらみずき」生産者を対象とした意見交換会を開催し、生産者11名、関係機関7名、合計18名の参加がありました。

意見交換会の前半は、当課から令和7年産の概況を報告し、収量が確保できた地点と、低かった地点のそれぞれの要因と、次年度の安定栽培に向けたポイントを説明しました。また、管内の消費者を対象に実施した「きらみずき」の食味・購買意欲に関するアンケートで高い評価が得られたことを紹介し、生産意欲の向上を図りました。

本年は、単収向上のため地力が低いほ場を避けて作付けし、生育後半まで栄養状態を維持するために適切に施肥を行うことを重点的に指導しました。その結果、単収向上に取り組んだ結果、オーガニック栽培を除く管内全生産者24名の平均単収は507kg/10aと、昨年度の平均単収(同449kg)から約60kg増収し、目標単収の510kg/10aを概ね達成できました。

後半は、緑肥(レンゲ)を活用した「きらみずき」栽培と、オーガニック栽培における米ぬかや油かすを活用した秋の土づくりについて、2名の生産者から事例報告していただきました。参加者からはレンゲのすき込み作業や入水時期について質問があり、次年度の栽培に向けて大変参考になったと思われます。また、「きらみずき」を東京のマルシェに出展された生産者から、消費者の顔を見て「自分の作った『きらみずき』が一番美味しいと自信をもってPRできた」と、生産者としての喜びの声を参加者へ伝えられました。

今後は、既存の生産者への栽培支援を継続するとともに、新規栽培者の確保ならびに面積拡大に向けて更なる作付推進を行います。



意見を交わす参加者



事例報告する生産者